

やつおもて

2025 No. 52 (9月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター 協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員

電話: 45-1918

E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

暦の上では秋ですが、日中はまだまだ照り付けるような陽ざしが続いていますね。厳しい暑さの中にもわずかに感じる、時折り吹く涼しげな風や夕暮れ時の虫や鳥の鳴き声など、夏の終わりを惜しみつつ季節の移ろいを探してみるのもいいですね。(つぬ)



お知らせ

まちづくりセンター施設使用について

和田まちづくりセンターは、サークル活動やまちづくり活動などの団体使用以外でも、趣味の集まりなど、個人での使用ができます。

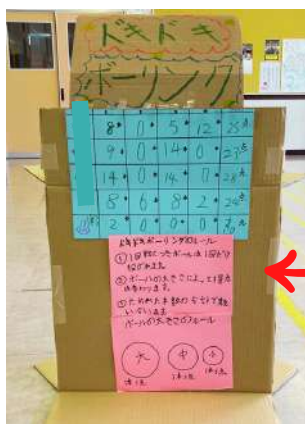
使用にあたっては、事前申請が必要です。使用する活動内容により、使用料を免除することがあります。

詳しくは職員にお問い合わせください。



Q: 自分達で遊びを考え、手作り夏祭りで使用したい。

A: 免除になります。



施設使用金額

●各部屋使用料 (コンセント・冷暖房込み) / 時間

- ◆会議室…220円 ◆図工室…220円
- ◆音楽室…220円
- ◆ランチルーム…330円 ◆かがやきホール…330円
- ◆家庭科室…220円 (調理設備施設料 110円)
- ◆体育館 (ミーティングルーム込み) …660円
- ◆体育館ミーティングルームのみ…220円

お問い合わせ 0855 (45) 1918

※活動内容の詳細をお聞きする場合があります。



第1回あさひ子ども 健全育成協議会

7月16日（水）、旭支所にて20名が出席し会議を行いました。子ども達のために、私達大人は「何ができるのか」を付箋紙を使って普段思っていることやアイデアを出し合い、できることの共通認識を図りました。



※あさひ子ども健全育成協議会とは…
保・小・中学校PTA、民生児童委員、旭地域まちづくりセンターなど、子どもに関わる団体の代表で構成されています。

陶芸教室



7月26日（土）、石見焼雪舟窯元の福郷生雲先生にお越しいただき、陶芸教室を開催しました。途中、熱中のあまり無言の時もありつつ、和気あいあいとした時間の中で、みなさん思い思いの素敵な作品を作っていました。

わんぱくDAYキャンプ (都川)



当たれえ〜!

割りばし鉄砲作り
&
的あてゲーム



鮎つかみ
&
モルック



都川地区ボランティアの皆さんが、
美味しいカレーを
作って下さいました。
ありがとうございました。



8月7日（木）、小学2年生から6年生まで23名が参加したわんぱくDAYキャンプ！前日の雨により、楽しみにしていた川遊びは中止になりましたが、4名の中学生ボランティアと一緒に楽しい1日を過ごしました。

事業所紹介 (打ち合わせ)



7月29日（火）、ふるさと再発見事業として、和田地区内の中学3年生4名と「第9回 事業所紹介」の打ち合わせを行いました。みんなで「どこの事業所取材したいのか」、「何を聞きたいのか」など意見を出し合い取材先と日程を決めました。詳細は次号でお伝えします！

地域に花を植えよう！ (旧ふれあい広場付近)



環境保全・景観美化活動として、岩谷欣吾さん（本郷）が休耕田にひまわりの苗を約1000本植えられました。8月下旬頃に見ごろを迎える予定ですので、ぜひ立ち寄って見てください！

ゴーヤ

身近にできる省エネ活動として、はまだエコライフ推進隊よりいただいた苗が、しっかりとグリーンカーテンの役目を…果たしているのかな？夏の暑さに少しお疲れ気味の葉っぱですが、かわいい実を付けて私達を楽しませてくれています。

エコライフ啓発活動として、旭和田郵便局にもご協力いただいています。



まちづくりセンター（左）と 旭和田郵便局のゴーヤ

地域に花を植えよう！ まちづくりセンター校舎前花壇



5月31日（土）に子ども会や地域の方と一緒に植えたマリーゴールドや日々草、ひまわりが元気に育っています！



7月上旬頃、今年のこぼれ種で育ったひまわりが、とてもきれいに咲きました。

9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 8:30手芸教室
7	8 19:30 さくら会 (百歳体操)	9 19:30 生花教室	10	11	12	13
14	15 19:30 さくら会 (百歳体操)	16 14:50～15:20 ラブック号	17	18	19	20 8:30手芸教室
21	22 19:30 総務企画部会 19:30 さくら会 (3B体操)	23 19:30 生花教室	24	25	26	27 13:00 オーディオ 鑑賞会
28 7:30 第2回奉仕作業	29 19:30 さくら会 (百歳体操)	30				

見て！
聞いて！

私のおすすめ！



柳池 斉さん
(89歳)

(重富)



アルミ缶風車を作る道具も弟さんのお手製です。

九州に住む弟に作り方を教えてもらってから、資源の活用を兼ねてアルミ缶風車を作っています。風車が回るとキラキラとした光を放つので、畑では鳥よけとして、玄関や軒先ではオブジェとして利用できるので、近所の人にあげたりしています。